

徳島大学病院で脳手術支援ロボットの導入を進めた多田憲曜^{（しんやう）}特任講師（47）＝徳島市上八万町西山、医師。てんかん専門医で、発作を薬でコントロールできない薬剤抵抗性の患者を多く診てきた。「手術などで改善が期待できる場合もある。県内でも負担の少ない最新の検査や治療を受けられるようにしたい」。

てんかんは脳神経が過剰に興奮することで起こる脳の病気で、誰もが発症する可能性がある。しかし、患者は職業差別や

患者の生活の質向上



偏見を受けることもある。「患者が安心して生活できるように多くの人に正しい知識を身に付けてもらいたい」と、一般向けの市民講座などで講師も務めている。

「多くの患者が適切な治療で普通の社会生活や日常生活が送れる」と話し、「診療レベルの質、患者の生活の質を上げられるように頑張りたい」と力を込めた。（佐藤聡美）